

6月は「秋田県男女共同参画推進月間」です

男女共同参画週間 6月23日～29日

にかほ市男女共同参画川柳コンテスト

男女差を 越えて高める 和と知と技

令和元年度最優秀作品 佐々木恭司さん（神奈川県）

仕事や地域など、幅広い分野での女性の活躍、男性の育児や家事への参画等男女共同参画に関する作品を募集します。応募資格は問いません。皆さまのご応募お待ちしております。

テーマ わが家、地域の『子育て』

- ▽募集期間／6月1日～7月31日
- ▽作品数／選りすぐりの作品をお寄せください（1人3作品まで）
- ▽賞品／最優秀作品賞：にかほ市特産品セット（5、000円相当）

第3回にかほ市男女共同参画計画

にかほ市では、平成29年度から5カ年の第3回にかほ市男女共同参画計画を策定し、男女が対等な構成員として助け合いながら『夢あるまち 豊かなまち 元気なまち』を実現する社会を目指しています。男女共同参画は、性別だけでなく、年齢、国籍、障がいの有無に関わらず、すべての人が認め合い、支えあい、助け合う社会を

築くための理解を深める取り組みです。まずは、身近な家庭、職場、地域における役割分担の意識を直してみませんか。市HPで第3回にかほ市男女共同参画計画の全文をご覧になれます。



にかほ市HP



詳細はコチラ

※応募作品は未発表のものに限ります。
※詳細は市内に設置したチラシや市HPをご覧ください。
☎子育て支援課 ☎32・3040
✉sukusukusienka@city.ni
kaho.lg.jp

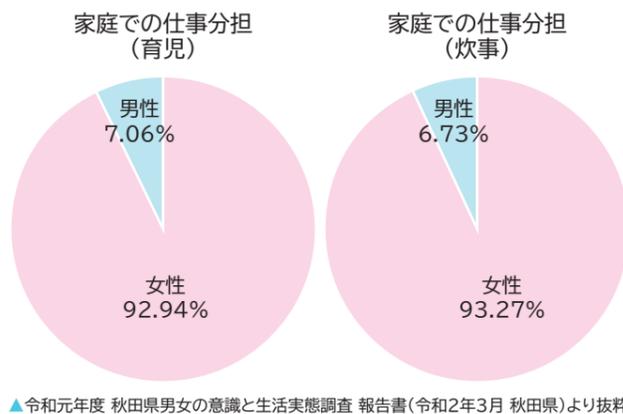
おとう飯はじめよう

子どもの頃、お父さんが作ってくれる晩ご飯は、厨房に立つ父を見る珍しさと、妙に張り切っている姿から伝わる高揚感、お皿やテーブルの準備を整えて待つ一体感がなんだか特別な食事を味わう気分させてくれました。でも、お父さんが作る食事は特別ですか？お母さんがお家に居ても、病気がなくても、『おとう飯』の腕を振るって見せてほしい！だって、家族みんなで囲む食卓は、いつだって特別だからね！！

「『おとう飯』始めよう」は、2017年6月に内閣府が開始した「子育て世代の男性の家事・育児への参画推進」を目的としたキャンペーンです。掃除、洗濯、ごみをまとめて出すなどの家事全般の中で、男性の参加率が低いとされているのが「炊事（食事の支度）」の調査（令和元年度秋田県男女の意識と生活実態調査報告書（令和2年3月秋田県））においても、「家周りの仕事（雪かき、大工仕事等）」や「近所づきあい、町内

☎子育て支援課 ☎32・3040

会行事への参加」などの外仕事は圧倒的な割合で男性の参加が見られるものの、炊事、洗濯、部屋の掃除など「家事」分担に関しては、女性が多く担っている現状が見られます。



▲令和元年度 秋田県男女の意識と生活実態調査 報告書(令和2年3月 秋田県)より抜粋

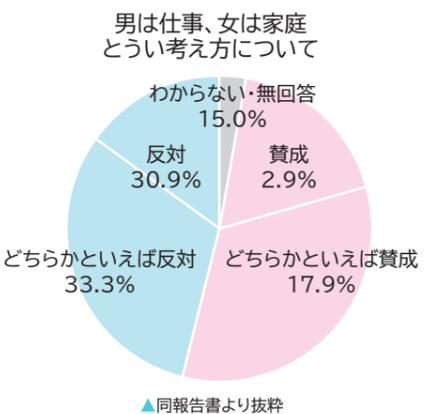
同じ調査で、秋田県における既婚者（配偶者、パートナーありと回答した者）の共働き実態を見ると、全体の約半数（46・6%）が自分も配偶者も働いていると回答しています。どちらも働いていな

「おとう飯」 はん やってるかい？



今号おとう飯
今回の取材に協力して
いただいた須藤さん。

いまたは、不明の合計が約3割（31・3%）となっていて、高齢者や年金受給者を示していると推察すると、現役世代においては、かなり高い割合で男女両方が仕事をもっていると考えられます。『「男は仕事、女は家庭」という考え方をどう思うか』という質問に対する回答では、男女とも半数以上が反対と答えています。意識の上では、性別で社会的な役割を分担するという感覚は薄れてきていることが数字に表れています。



▲同報告書より抜粋

この調査は、男女共同参画そのものに対する考え方や、職場における意識など幅広く実態を報告していますので、興味のある方は県のHP「美の国あきたネット」から報告結果をご覧ください。



秋田県HP